

10月所感

「どうしたらできるか」～ 目的に向かっていく努力

狭山市立教育センター

所長 鈴木 浩明

10月はノーベル賞受賞者の発表の月です。3年連続で日本人が選ばれています。今年も日本人が受賞するか注目が集まっています。

2014年に世紀の大発明と言われている青色発光ダイオードの発明でノーベル物理学賞を受賞した中村修二さんがおられますが、自著の中でご自身の経験を次のように語られています。

会社員時代にまだ発明されていなかった特殊な青色発光ダイオードの開発をしたいと社長にお願いし、会社から約3億円の開発費用をいただきました。その後、研究に使う機械を作る勉強をするため、フロリダ大学に1年間留学し、日本に戻ってから、研究の装置の改造にとりかかりますが、会社から研究の取りやめを求められました。その後、窒化ガリウムの結晶を作製する新しい機械を発明し、青色発光ダイオードの発明につながっていきました。

中村さんは、自分の専門外の仕事から独学に近い状態で研究し、部品の調達から研究機材の作成までされ、最終的には、赤色・青色ダイオードの発明をされたのです。

中村さんは、人生で一番大切なキーワードとして「できない理由を探すな。どうしたらできるかを考えろ」をあげておられます。

私たちは、いろいろな壁にぶつかると、壁を乗り越えようと努力し、それでも上手くいかないときには、「〇〇がないからできない」とできない理由を探してしまうことがあります。

しかし、中村さんは、「〇〇がないからできない」ではなく、「自分のやりたいことは〇〇だ。そのためには、〇〇が必要だ」だから〇〇しようという前向きな姿勢で、自分で決めた目的に向かっていきました。その努力の結果が、新しい発明につながっていったのだと思います。

みなさんの夢がたとえどんなに大きな夢であっても、思いを強く持ち、その夢を叶えるためには何が必要で、今何をすべきなのかをしっかりと考え、行動にうつし自らの道を歩んで欲しいものです。

中村修二『考える力、やり抜く力 私の方法』

